

遊びから学びへ

— “何もしないでいること” との切ない別れ



島根大学大学院教授 肥 後 功 一

くまのプーさんのお話が、おとなになったクリストファー・ロビンを主人公とした実写映画になって、この原稿が活字になる頃には日本でも公開されているはず。今（8月半ば）はまだ予告編を観ることしかできませんが、その中に“みんなは「何もしないでいること」なんてできっこないって言うけど、僕は毎日やってるよ”というプーさんの台詞がありました。「プー横丁にたった家」（ミルン作、石井桃子訳、岩波書店）を読んだことのある方は、あれっ？と思われたことでしょう。

実はこの“doing nothing（何もしないでいること）”は、原作ではクリストファー自身が口にすることばです。何もしないでいることがいちばん好きだったのに、“僕はもう何もしないでいることなんてできそうもないんだ”と述べて、彼はプーさんたち森の仲間とお別れします。その理由は明示されていませんが、彼が「いってしまふ」ことをなぜかみんなが知っているのです。

幼児期を終えたら学校に行くという制度的な理由以上に、子どもたちは自分から「何かをする者」へと成長していくのであり、それは幼児期から既に見られる姿です。牛乳パックやペットボトルを切ってつなげた長いコースを、カーブや落差をつけながら、どうすればドングリをゴールまで転がすことができるか…コースは複雑になるほどおもしろいけれど、それにつれてドングリを転がすことは逆に難しくなる…そんな矛盾をはらんだ、答えが一つではない遊びには、目標、意図、意欲、主体性、試行錯誤、創意工夫、仮説、粘り強さ、友だちとの競争や対立、そして話し合いや協働…などなど後の学びにつながる、いやむしろ学びの本質ともいえるすべてが含まれており、ゆえに幼児期の遊びを学びにつなげてい

くことの重要性に、いま注目が集まっているのでしょう。

夢中になって「している」ことを、少し離れて見る自分（どうしてうまくいかないのかな？どこをどうすればいいのかな？）が出現すること、つまりメタ認知（している自分と、それを振り返る自分の分離）が成立することで、自ら目標をもち、工夫をしながら、強い意志を持ってそれを達成しようとする姿—すなわち学びの姿が生まれます。しかし同時に、そのようなホンモノの学びの姿が出てくるには、まずは我を忘れて（自分が“している”という自覚の手前で）遊びに没頭すること—つまり「何もしないでいる」ともいえる遊びの世界にどっぷり浸る経験が必要です。私たちおとなにできることは、子どもという「生物」がもともと持っている傾向性の本質や意味を理解し、それを引き出したり伸ばしたりできる環境を大切にするということです。そのような中から子どもは自然に、自らを学ぶ者（何かをしている者）へと成長させていくのでしょ。学びにつながるように…というおとなの意図を反映した遊びを計画し、それがどう学びにつながったかという側面を「成果」として可視化しようとする試みが、何をもたらし何を損なうのか、私たちおとなの想像力と思考力が問われています。

学びの世界に入り「何かをする者」になっても、いや、そうやって行き詰まったときにこそ、子どもの頃の「何もしないでいる」世界—「森の魔法の場所」での遊びの経験とつながっていること—が私たちを救ってくれます。おとなになったクリストファーが、どんなふう to この世界と再会したのか、私も実写映画を楽しみに観てみたいと思います。

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★第9回幼児教育実践学会

全国から約720人が参加 基調講演、口頭発表、ポスター発表などを行う

8月17日・18日の2日間、第9回幼児教育実践学会が埼玉県にて開催されました。両日とも東京家政大学狭山キャンパスが会場となりました。全国各地から約720人の幼稚園関係者等が参加し、「子どもたちの今と未来の幸せをねがって～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～」をテーマに、保育実践者と研究者が共に学び、深め合う、実践を踏まえた研究発表が行われました。

詳細については以下の通りです。

●8月17日

初めに、(公財)全日私幼研究機構宮下友美恵副理事長より開会の言葉が述べられた後、(公財)全日私幼研究機構東重満理事長よりあいさつがありました。

ご来賓に学校法人渡辺学園東京家政大学・東京家政大学短期大学部山本和人学長、学校法人渡辺学園東京家政大学子ども学部子ども支援学科大澤力学部長・教授をお迎えし、山本和人学長より祝辞をいただきました。



CHAPPY 園児管理シリーズ クラウド対応 園児管理システム

園長 ○ 先生

出席の管理
未就園児管理
バスコース管理
承認機能完備

パソコン内ではなく
データセンターでの
管理になるので
セキュリティに
優れています。

個人カリキュラム
検査記録
課外活動一覧
指導計画

開発・販売 株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部

園で役立つ機能が満載！ しかも簡単入力で時間削減。
チャイルド社の園児管理システムは、
忙しい先生を応援するためのシステムです。

パソコンでも
タブレットでも
使えます！

PC タブレット

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-3333-2345
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>



▲優秀教員表彰式

つづいて、平成 29 年度・優秀教員表彰の賞状授与が行われました。教育実践活動、研究成果等の実践活動において優れた成果をあげられた 7 名が受賞されました。

被表彰者は以下の通りになります。

田中ゆかり／学校法人めばえ幼稚園副園長・福島県
野々下春子／学校法人八王子中村学園なかの幼稚園主査・東京都

波岡千穂／学校法人伸和学園堀川幼稚園副園長・富山県

細川志保／学校法人渡辺学園ながら幼稚園教務主任教諭・岐阜県

大谷喜久子／学校法人大谷大学みちる幼稚園園長・愛知県

下江聡子／学校法人ひじり学園認定こども園ひじりひがし幼稚園主幹幼稚園教諭・大阪府

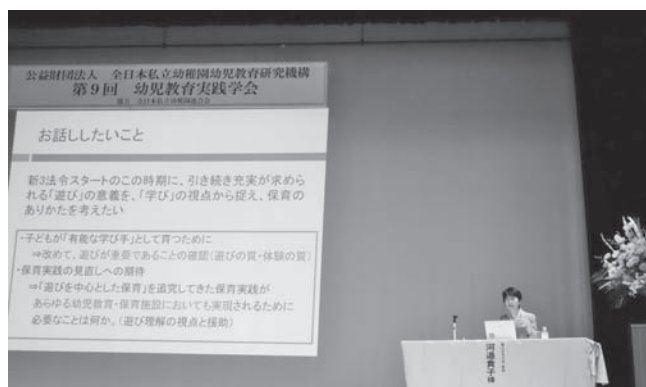
三好京子／学校法人東広島中央学園西条幼稚園学務主任・広島県

優秀教員表彰終了後、(公財)全日私幼研究機構 加藤篤彦研究研修委員長より本実践学会の概要説明が行われました。

次に、聖心女子大学教授の河邊貴子先生より「豊かな学びに溢れた『遊び』とは何か」をテーマに基調講演Ⅰが行われました。

つづく基調講演Ⅱでは、「2 歳児って面白い～『やりたい』が発揮される生活の中で～」をテーマに、お茶の水女子大学教授・文京区立お茶の水女子大学こども園園長の宮里暁美先生にご講演いただきました。

講演終了後の「保育者と研究者の交流懇親会」では、保育者と研究者同士の活発な交流が行われたほか、2 日目の口頭発表・ポスター発表に向け、発表者による概要紹介が行われました。



▲基調講演Ⅰ

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田 2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

**ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!**

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
**キャラクター
ロゴ**

Flashで
動画!

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。



▲基調講演Ⅱ



▲交流懇親会

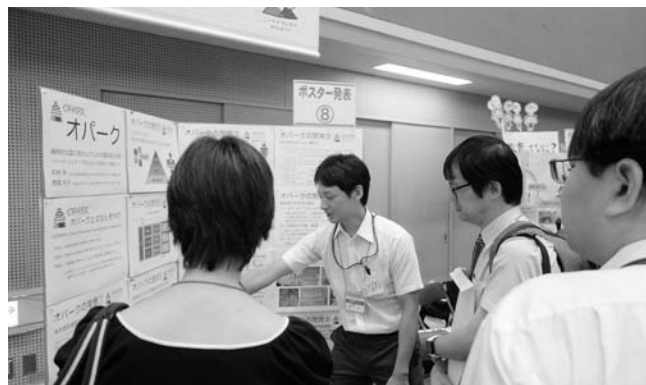
●8月18日

1日目に引き続き東京家政大学狭山キャンパスを会場に、午前の口頭発表Ⅰ、午後の口頭発表Ⅱ合わせて18発表が行われました。

また昼食の時間と並行して、44のポスター発表が行われました。午後の口頭発表Ⅱの終了とともに、2日間にわたる幼児教育実践学会は終了いたしました。



▲口頭発表



▲ポスター発表

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

私幼時報では、平成30年8月号から平成31年3月号の8回にわたり、平成30年1月28日に開催された全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・発達保育実践政策学センター(Cedep)共催シンポジウム「東アジアの保育・幼児教育改革～現職研修と評価を通じた保育者の専門性向上～」の内容を報告します。今号と次号では、韓国幼児保育・教育研究所のムギョン・ムン博士の講演を報告いたします。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部平林祥先生(大阪・ひかり幼稚園)が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。当日配付されたスライド資料は、発達保育実践政策学センターのシンポジウム報告ページ(http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project_report/symposiumseminar/sympo_20180128/)からダウンロードできますので、ご参照ください。

韓国幼児保育・教育研究所 ムギョン・ムン博士／講演概要

韓国における保育者の「質の調和」

Prof. Moon: 皆さま、こんにちは。私は韓国の幼児保育・教育研究所に勤務しています。韓国には26の国立研究機関があり、そのなかの1つで幼児保育・教育に特化した研究所です。つい最近、開設12周年を迎えました。博士号を持つ職員が30人いる他にも、修士号を持つ職員や事務員を加えて、総勢75名のスタッフが在籍しています。私たちは教育省と家庭福祉省の2つの管理下に置かれ、それぞれの大臣が直轄する研究所です。現在は、主に幼児保育・教育施策に関連した80のプロジェクトに

同時並行で取り組んでいます。今日は、近年の韓国における幼児保育・教育の施策に関しての新しい情報をお伝えできればと思います。

【「質の調和」について】

今日は、韓国における「保育者の質の調和」について話します。「質の調和」とはどういう意味かというと、さまざまな所で働く先生方の質の差を埋めるということです。例えば、公立と私立、あるいは

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

保育ナビ

2018年10月号の主な内容

- 特集1 対話の場をつくる 異分野に聴く 「対話」は協働する組織へと成長していくため、相手を鏡として自分自身を知り育てていくための貴重な機会です。本特集では「異分野」に目を向け、2つの対談を行いました。組織の対話、自分との対話を深める参考にしてください。
- 特集2 感染症2018 集団保育の場で気をつけるべきこと これからインフルエンザなど冬の感染症が流行する時期です。保育所、幼稚園、こども園等、子どもが集団生活を送る施設で日常的に注意すべきポイントを紹介します。
- どうする? 「要配慮児」支援 配慮が必要なお子さんをもつ親にとって小学校入学は不安がいっぱい。その不安を受けとめつつ、前を向いて希望をもって就学に向かえるよう働きかけることが大切です。

管理職向け月刊誌

定価: 本体価格926円+税
B5判 72ページ



ISBN978-4-577-81439-0 710

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの フレーベル館

幼稚園とオリニチプ（＝子どもの家、日本の保育所に近い）、それから、都市と郊外の施設に関しても、現状、さまざまな質の格差があります。それを埋めていきたいという願いを、「質の調和」というタイトルで表現しています。一番高い保育の質を韓国にいる全ての子どもたち一人ひとりが受けられるようにと考えていくと、やはり質の格差を埋めていくことが重要になると考えています。

【今日の話題】

まずは背景として、OECD のデータを使い今日のテーマの現状について説明します。それから、韓国の幼児保育・教育の現状に触れます。大きな出来事として、ちょうど今から1カ月前の2017年12月28日に、新政権のムン首相がオリニチプと幼稚園両方について5カ年計画を発表しました。そのことについても触れます。続いて、韓国における保育者の専門性開発・現職研修について触れます。ここでは、2017年10月に終了した、幼稚園に関する全国調査で得られた重要な知見について話します。それに加えて、韓国における保育者の専門性開発・現職研修に関して政府の支援に関する政策についても触れます。

韓国では、幼児保育・教育に関してさまざまな革新的取り組みをしていると自負していますが、一方

で、皆さまと共通する課題をいまだに抱えている部分もあると思います。そういったことに関する示唆や展望に関しても少し分かち合えればと考えています。

【幼児教育の主要指標】

保育者が養成課程を経た後にも社会は変わり、子どもたちも変わっていくので、保育者がその専門性を維持するためには、学び直し、継続的に学ぶことが必要だと考えています。日本でも大変関心が高いと聞いている幼小接続に関しては、2017年1月にOECDの報告書が出ています。また、それに続いて『スターティング・ストロング2017』が発表されており、そこでは幼児教育の主要指標が取り扱われています。

主要指標は3つに分かれていて、1つ目がインプット—政府が幼児保育・教育の質を改善させるために、どのような政策をとり、資源を投入しているか。それに伴って、保育者の給与や労働条件が改善されているかを評価します。2つ目がアウトプット—これには主に2つの指標があり、一つはどのようにカリキュラムを構成するか、もう一つはアクセスで、保育料の設定や施設の配置など、子どもや保護者が園をどの程度利用可能であるかを評価します。3つ目がアウトカム—ここでは就園率のほか、



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



PISA スコアなど達成的なもの、それから保育施設を充実させたことで女性の就労が進んでいるかを評価します。

【保育者・子ども人数比】

インプットでは保育者に関する要素が含まれているため、主要指標に言及しました。保育者と子どもの人数比は、保育の質に大きな影響を与えます。子どもが受ける保育の質にも影響しますし、保育者の労働条件という観点でも大事な指標になります。保育者・子ども人数比が低いほど、一人ひとりの子どもにより応答的に関わられますので、子どもにとってそれはいいことだと皆さまご存じだと思います。OECD 平均の保育者・子ども人数比は 1 対 14 です。これは、総スタッフ数ではなく、保育者数です。例えば、英国では資格を持たない補助教員を導入することで、大人・子ども人数比を下げっていますが、この調査では保育者・子ども人数比を調べているので、無資格者や補助教員を入れている場合はこの数字が高く出ます。

スライド 6 の ISCED01 は、0～2 歳の子どもに関する保育者・子ども人数比で、ISCED02 は 3～5 歳の子どもたちに関する保育者・子ども人数比です。韓国の数字を見ると、3～5 歳に関しては OECD 平均と遜色ない数字で、0～2 歳に関して

は平均よりもうまくいっているように見えます。ただ、保育者・子ども人数比の一番低いオーストラリアやスウェーデンは、より高い水準にあります。比が高いからといって、必ずしも保育の質が低いというわけではありませんが、一人ひとりの子どもに応答的であるということを考えると、高いよりは低い方が望ましいことには同意していただけたと思います。

【保育者の構成】

保育者の年齢構成も非常に大事な話で、OECD 加盟各国を見ていくと、かなり多様な様相が見て取れます。これにはさまざまな要因があります。例えば、国の人口が全体的に若いとか、高いことが影響しますし、保育者になるまでの養成期間の長さによっても年齢は影響を受けます。その他に、収入などの処遇によっても、この年齢は変わってきます。

スライド 7 で韓国や日本と OECD 平均と比べてみると、青色の面積が大きいことに気付きます。青色は 30 歳未満の保育者を意味しますので、韓国と日本では保育者の年齢構成がかなり若い方に偏っていることが分かります。OECD の平均では、保育者の 25% が 50 歳以上、約 20% が 30 歳未満である一方で、日本では 30 歳未満の保育者が 60% 近くを占めますので、かなり違います。経験年数が

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために
研修の記録を大切に残しておきましょう！

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

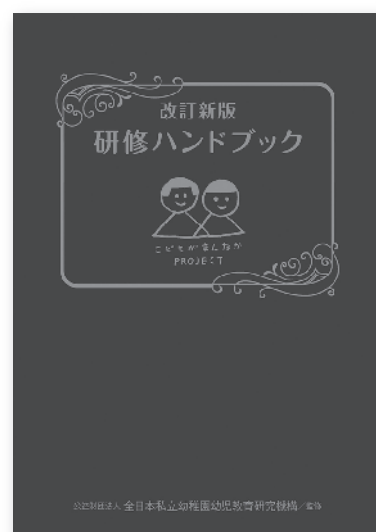
改訂新版 研修ハンドブック

4145301 **648 円** (本体 600 円)

●B6 判
●112 ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー CS 事業本部
TEL03-3262-5128



大きいということは、当然その分だけお給料が高くなってきます。韓国では特に私学に関しては、人件費を削減するために、何とかしてより若い保育者に働いてもらうように運営している施設があります。そういう理由から、韓国政府は私立幼稚園に勤務する保育者の所得に関して補助金を出し、日本でいう処遇改善のようなことを行おうとしています。

保育者の性別構成でいきますと、韓国の保育者の97%は女性です。それに対して、オランダは87%の保育者が女性ということで、この構成比も国によって大分変わります。公私の別については、幼稚園では75%のスタッフが私立園で勤務していて、オリニチップでは90.5%のスタッフが私立の施設に勤務しています。園長や他の先生方の数については、スライド12をお読みください。

【韓国の重要統計】

統計的な数値で、強調したいものが2つあります。一つは、合計特殊出生率が低くなっていて、2017年には1.172という数字です。もう一つは、女性の就労参加についてで、2017年末の時点で56.2%という数字が出ています。また、6歳以下の子どもを育てている女性の46.6%が就労しているという数字もあります。

もう少し幼児保育・教育に特化した統計の数字でいきますと、3～5歳に関しては90%の就園率を達成しており、0～2歳に関しても63.5%の子どもがオリニチップに通っています。この数字は、女性の就労率56.2%よりも高いものです。また、幼児保育・教育に関する政府の投資は、2014年以降でみるとGDPの1%を達成しています。その間のOECD各国の平均はGDPの0.8%ですので、この1%というのはかなり大きな数字になります。

【ヌリカリキュラム】

韓国は、日本と同じように幼稚園とオリニチップは二元化されたシステムをとっています。日本と同様に、韓国もナショナルカリキュラムについては非常

に高い評価を得ていて、ヌリカリキュラムというのもその要素の一つであり、近年の幼児保育・教育に係る政策の中でも最も革新的な一つであると感じています。冒頭で「質の調和」、格差を埋めるという話をしましたが、ヌリカリキュラムはそれを実現する方策の一つです。「ヌリ」というのは韓国独自の言葉で、「世界」を意味します。都市部でも郊外でも、公立でも私立でも、幼稚園でもオリニチップでも、全ての子どもたちが最高の育ちができる世界をつくりたいという思いを込めて、「ヌリ」という言葉を付けました。

【質のモニタリング】

もう一つお話ししておきたいのは、質のモニタリングに関してです。2015年から試行的に、オリニチップについては300項目を、幼稚園については34項目をチェックして評価・認証の改革に取り組んできました。2017年10月からはそれを統合して、幼保の両方で134項目の指標で評価していくシステムに変えました。オリニチップ側は、それまでの300項目から134項目に減るということで、新しい指標が非常にスムーズに導入されています。それに対して幼稚園側では、それまでの34項目から134項目に増えたため、非常に強い抵抗があります。韓国の新大統領の政策の一つとして、地方自治体により多く権限を委譲する政策が取られており、韓国政府が新しい指標の導入を進めたくても、地方自治体が了承しなければ導入されないという現状があり、幼稚園に関しては韓国内の70地区のうち7地区でしか受け入れられていないという困難な状況になっています。

質のモニタリングの設置主体も、幼稚園とオリニチップとは異なります。幼稚園は各地区の教育委員会、日本でいう都道府県の教育委員会にあたる組織が質のモニタリングの責任を持ちます。幼稚園の各地域の教育委員会によるモニタリングにおいて、保育の観察は義務であり、最低年1回は実施されると決められています。オリニチップの質モニタリングはやや複雑で、合計100のオリニチップサポート総合

センターが質のモニタリングの責任を持ちます。中央のセンター 1 つがソウルのモニタリングを担当し、残り 99 のセンターがその他の 70 地区の質のモニタリングを担当しています。

【コンサルテーションとスーパービジョン】

質のモニタリングを受けることは各施設の義務ですが、その他に任意でコンサルテーションやスーパービジョンを受けることもできます。例えば、カリキュラムの作成やヌリカリキュラムの実施といった項目に関してコンサルテーションを受けたい、と各園が地域の教育委員会にオンラインで申し込みをしたら、該当する分野のエキスパートが各園に派遣され、コンサルテーションを行います。スーパービジョンも任意と言いましたが、初任の保育者については必ずスーパービジョンを受けなければならないと定めている地域もいくつかあります。その他にも、「保育者の学びのコミュニティ」という有志で行う研修制度があり、これに申請して登録していると、金銭的あるいは非金銭的な支援を各地区の自治体から受けて、保育者が専門性を高めるための学習機会を持つこともできます。

【養成課程と現職研修、昇級】

養成課程に関しては、短大でも 2 年の課程がありますが、短大のうち 80% は 3 年の課程を採用しています。その他の一般の大学では 4 年間の養成をしていますが最低資格基準の ISCED のレベルを取得するのですが、これらの課程を経ていれば、2・3・4 年にかかわらず一番下の幼稚園教師 2 級の資格からの開始となり、そこに関して差はありません。スライド 13 に示したように、階層構造が非常に単純です。2 級の教師、1 級の教師、と昇級して、主幹教諭は韓国全体で 25 名しかいません。その上に副園長、園長がいます。

幼稚園教諭に関しては、短大にしろ、四大にしろ、幼児教育の学科での養成課程を経ているのですが、オリニチプ保育教師に関しては 13 の関連の学科が

あり、子どもの発達、養護、子ども福祉、看護等、さまざまな専攻を経てきた人たちがオリニチプ保育教師資格を取得します。オリニチプの職階も非常に単純な階層構造になっていますが、副園長職がないことと、高校卒業後 1 年間の訓練を経て取得する 3 級の資格がある点で異なります。

養成課程における初期訓練に関しては、スライド 14 に示したので割愛し、現職の保育者を対象とした研修についてお話しします。昇進については、現職教員がスライド 15 にあるような研修要件を満たすと、2 級から 1 級、主幹教諭、副園長、園長と昇級するようになっています。幼稚園教師は 2 級から始まった場合、園長になるまでに最低 12 年の経験が必要になりますが、オリニチプ保育教師は 2 級から始めた場合、最短で 4 年、長くても 6 年で園長になることができます。オリニチプに関しては、幼稚園教育に比べて非常に少ない時間で昇進の要件があるのですが、3 級から 2 級に上がるのに 80 時間、2 級から 1 級に上がるのに 80 時間という研修を積みみます。ただし、連続した 3 年のうちの 1 年間には必ず 80 時間の研修を必ず受けるという要件はあり、受けないと資格が剥奪されることになります。

昇級に関しては、受りたい人は受けるけれども受けなくてもいいという任意の受講になりますが、スライド 16 の現職幼稚園教諭の研修は必修です。児童虐待の通告とセクシャルハラスメント、安全一般、心肺蘇生法と応急手当、個人情報扱い、多文化教育、通園バスの安全という項目は必ず受講しなければなりません。この研修は全員が受けないといけないので、受講率 100% でないといけないのですが、99.8% の受講率だったとしても、政府から「残りの 0.2% は何をしていたのだ。これは必修だぞ」と問い詰められます。つい先日、国家報告書を研究所として政府に出したのですが、提出するデータを集計する時は、いつもヒヤヒヤしながら取りまとめています。

(大阪府・ひかり幼稚園／平林祥)

2018年10月号から2019年4月号にわたり、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会縦断研究チームが昨今調査を続けている砂場研究についての中間報告を掲載いたします。第1回目は本財団理事長並びに縦断研究チーム座長の東重満が本研究の目的と研究の概要についての説明をさせていただきます。

縦断研究チーム砂場研究の中間報告に向けて

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
理事長・縦断研究チーム座長 東 重満

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が日本の幼児教育・保育の分野において、シンクタンク的な役割を果たすことを視野に入れて平成24年の私立幼稚園実態調査から縦断的な研究(継続的かつ3~5歳児の発達の姿を対象)をスタートしました。既にこの紙面や幼児教育実践学会、PTAしんぶんなどで成果の一端をお伝えしてきましたが、今年度末を目途に中間報告をまとめることになりました。(研究をスタートしてからの経緯は2017年1月号の「砂場は保育をひらく窓」をご覧ください。)

この研究は「砂場」が

- ・予備調査ですべての園に設置されていた。
- ・幼稚園の規模や保育形態等に影響されずにある程度自由に使える空間があることによって繰り返しのあそび(学び)が深まるシンボルである。
- ・可塑性が高い素材がさまざまあり、異年齢の子どもが自然に交流する場として幼稚園に根付いている。
- ・保育者が設定したものばかりではなく、子ども自身が仲間と場を構成しながら、それを対象にしてあそぶ空間である。

ことから、子どもの発達の実態と環境および保育者のかかわりの関係にアプローチできるのではないかと考えました。

平成26・27年度は縦断研究チームのメンバー及び研究研修委員の7園をフィールドとして予備研究を実施しました。資料収集の手続きについて、ビデオの撮影方法、保育者の記録(フィールドノート)の様式と記述方法等について繰り返し実例を検証

し、分析の視点を検討しました。さらに、研究協力者である中橋先生(大阪教育大学)、箕輪先生(武蔵野大学)の研究室の学生研究員による定量的な分析手続、保育者のフィールドノートに対する定性的な分析手続についても検証と検討を繰り返しました。

この予備調査の結果を検討する中で、

- ・砂場でのあそびを通して科学的好奇心の芽をどのように育み共通の話題としているか。
- ・あそびを通して新たな課題をどのように認識し、その課題に対して仲間と協力し解決しているか。
- ・異年齢の交流事例を基に5歳児が幼稚園にいる意味と3、4歳児が5歳児と成長していく姿から幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿への繋がり。

が本研究を通して明らかにする視点として浮かび上がってきました。

平成28年度に、予備研究に基づき全国から抽出した24園を研究協力園として、本研究がスタートしました。入園・進級間もない4月から卒園・修了の3月まで毎月砂場での保育場面を10分程のビデオクリップと保育者の記録にまとめて、本財団研究機構に集約し中橋研究室と箕輪研究室で学生研究員の協力を得ながら継続的に分析しています。そこでは、画像データからあそびにおける研究視点の出現数などの定量的な分析を行い、合わせてあそびの流れや保育者記録の記述内容からあそびの展開と保育者のかかわり(環境の再構成や道具の提供等)を丁寧に分析しています。(協力園と集取したデータ件数は別表をご覧ください。)

平成29年度第8回幼児教育実践学会では中橋先生から「保育者が見ている子どもと物とのかかわり」として、子どもの物とのかかわりをどのように保育者が記録しているのか（保育者の見る視点）、保育者の具体的な援助の姿について、箕輪先生から「子どもと物とのかかわり」として、子どもの様子に視点をあて、子どもの物とのかかわりと非認知能力（工夫や試行錯誤など）の育成について、協力園の砂場環境の違いによる子どもの物とのかかわりについて、考察し報告がなされました。

そして今年度第9回幼児教育実践学会では平林先生から「砂場で見られる科学・数量形に関する子どもの育ちの可能性」、中橋先生から「保育者は5歳児の育ちをどのように見ているか～個の育ちを視点として～」、箕輪先生から「人のかかわり～協同性（役割の分担）に視点をあてて～」を考察し、ご報告させていただきました。

ここで注意したいのは、本研究の対象は公園の砂場での自然発生的なものではなく、あくまでもカリキュラムに基づいた保育の意図やねらいが埋め込まれた状況の中でこそ可能にするものであること

です。一方で、その際、保育者の強制や行き過ぎた指導や介入があっては実現不可能であることにも注意しなければなりません。

映像の分析は、①物事に関わる姿（行為、操作、言葉）と②人と関わる姿（言葉、表情、行為、操作、ふるまい）の大きく二つの視点（窓）で保育者養成課程の大学生が行っています。映像に記録されているあそびの中で注目する様子が出現した回数や時間を定量的に記録し分析してみると、地域や園の規模などをこえて、時期やあらわれ方に共通点があることが分かってきました。つまり、保育の意図やねらいをもって用意された砂場で、子どもが自発的・主体的に環境

（対象）に働きかけ、あそびを展開する過程で成長・発達に意味ある経験を重ねていることが示唆されています。

研究を進める過程で、砂場が持つあそびの可能性の豊かさを再認識すると共に、研究そのものの難しさも実感しています。平成31年度からはこれまでの研究を基盤に、現場へのフィードバックと合わせて、政策提言のエビデンスとなり得る知見を得るために、条件を設定した上でデータ収集し、研究を継続してまいります。ご理解とご協力をお願いすると共に、本研究へのご意見をお寄せいただければ幸いです。

映像及び保育者記録回収状況													
映像記録176件 保育記録171件													
北海道・東北地区は雪のため記録困難！													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
映像	21	23	20	17	17	18	16	12	10	9	10	8	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
記録	20	21	20	17	11	18	16	12	10	9	10	8	

▲映像及び保育者記録回収状況

地 区	調 査 園		
北海道地区	美晴幼稚園	札幌ゆたか幼稚園	旭川ふたば幼稚園
東北地区	青森県・千葉幼稚園	岩手県・聖パウロ幼稚園	福島県・郡山女子大学附属幼稚園
関東地区	群馬県・ちぐさ幼稚園	千葉県・コスモス幼稚園	神奈川県・宮前幼稚園
東京地区	やはたみずのとう幼稚園	武蔵野東第二幼稚園	大和郷幼稚園
東海北陸地区	石川県・木の花幼稚園	静岡県・静岡豊田幼稚園	愛知県・国風第三幼稚園
近畿地区	大阪府・せんりひじり幼稚園	兵庫県・立花愛の園幼稚園	和歌山県・名草幼稚園
中国・四国地区	山口県・岩国中央幼稚園	徳島県・わかくさ幼稚園	広島県・焼山こぼと幼稚園
九州地区	福岡県・きらきら星幼稚園	大分県・ひまわり幼稚園	宮崎県・生目幼稚園

▲砂場調査研究協力園一覧

氏 名	所 属 名
東 重満	全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長 北海道・美晴幼稚園
平林 祥	全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会協力委員 大 阪・ひかり幼稚園
中橋 美穂	大 阪・大阪教育大学
箕輪 潤子	東 京・武蔵野大学

▲縦断研究チーム メンバー一覧

平成30年度 振興資料集①

○平成30年度学校基本調査速報概要

幼稚園の現状

区 分		全 体		国 立		公 立		私 立	
		総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合
幼 稚 園 数		10,474	100.0%	49	0.5%	3,737	35.7%	6,688	63.9%
学 級 数		55,319	100.0%	228	0.4%	10,747	19.4%	44,344	80.2%
園 児 数	3 歳児	357,310	100.0%	1,345	0.4%	35,052	9.8%	320,913	89.8%
	うち 満 3 歳児	47,971	100.0%	0	0.0%	252	0.5%	47,719	99.5%
	4 歳児	411,639	100.0%	1,969	0.5%	67,687	16.4%	341,983	83.1%
	5 歳児	438,937	100.0%	2,016	0.5%	84,024	19.1%	352,897	80.4%
	計	1,207,886	100.0%	5,330	0.4%	186,763	15.5%	1,015,793	84.1%
本務教員数		95,593	100.0%	351	0.4%	18,933	19.8%	76,309	79.8%

注) 出典：文部科学省「平成30年度学校基本調査速報」(平成30年8月2日現在)

※満3歳児の園児数は、前年度間に入園した平成26年4月2日～27年4月1日生まれの園児数である。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の園数等の推移

区 分	幼稚園数 (A)	うち私立 幼稚園数	在 園 児 数					教員数 (本務者) (C)	本務教員 1人あたり 園児数 (B/C)	幼 稚 園 修了者数	小学校及び義務 教育学校第 1学年児童数に 対する幼稚園 修了者数の比率
			計 (B)	3 歳児	4 歳児	5 歳児	うち 私立幼稚園 の在園児数				
年度	園	園	人	人	人	人	人	人	人	人	%
昭和40	8,551	5,382	1,137,733	46,488	393,415	697,830	836,953	45,193	25.2	666,658	41.3
50	13,106	7,796	2,292,591	131,002	943,457	1,218,132	1,721,870	85,680	26.8	1,209,152	64.0
60	15,220	8,903	2,067,951	210,662	821,145	1,036,144	1,556,881	98,455	21.0	1,032,892	63.6
平成元	15,080	8,793	2,037,614	259,051	816,143	962,420	1,576,909	100,407	20.3	961,842	64.0
2	15,076	8,785	2,007,964	275,201	795,056	937,707	1,568,141	100,935	19.9	961,842	64.0
3	15,041	8,769	1,977,611	300,242	774,127	903,242	1,560,274	101,493	19.5	937,880	64.0
4	15,006	8,737	1,948,868	323,776	753,856	871,236	1,551,042	102,279	19.1	903,948	64.1
5	14,958	8,704	1,907,110	322,763	741,745	842,602	1,520,513	102,828	18.5	872,061	63.8
6	14,901	8,657	1,852,183	326,610	703,245	822,328	1,474,661	103,014	18.0	841,978	63.5
7	14,856	8,639	1,808,432	341,515	689,807	777,110	1,439,992	102,992	17.6	822,209	63.2
8	14,790	8,601	1,798,051	346,675	693,668	757,708	1,431,056	103,518	17.4	777,675	62.8
9	14,690	8,556	1,789,523	350,401	682,115	757,007	1,422,090	103,839	17.2	785,467	62.5
10	14,603	8,524	1,786,129	371,308	673,089	741,732	1,419,452	104,687	17.1	757,660	62.3
11	14,527	8,497	1,778,286	358,093	691,828	728,365	1,410,817	105,048	16.9	741,362	61.6
12	14,451	8,479	1,773,682	370,237	656,806	746,639	1,402,942	106,067	16.7	728,334	61.1
13	14,375	8,443	1,753,422	381,798	664,732	706,892	1,385,641	106,703	16.4	747,154	60.6
14	14,279	8,410	1,769,096	398,626	657,316	713,154	1,399,011	108,051	16.4	707,642	59.9
15	14,174	8,389	1,760,494	400,243	658,631	701,620	1,392,640	108,822	16.2	712,935	59.3
16	14,061	8,363	1,753,393	410,228	642,804	700,361	1,389,997	109,806	16.0	702,255	58.9
17	13,949	8,354	1,738,766	420,343	637,554	680,869	1,383,249	110,393	15.8	700,745	58.4
18	13,835	8,317	1,726,520	423,770	629,348	673,402	1,377,688	110,807	15.6	682,082	57.7
19	13,723	8,292	1,705,402	428,928	613,556	662,918	1,367,723	111,239	15.3	672,925	57.2
20	13,626	8,276	1,674,172	427,148	602,112	644,912	1,349,247	111,228	15.0	662,911	56.7
21	13,516	8,261	1,630,336	415,991	584,228	630,117	1,318,006	110,692	14.7	644,771	56.4
22	13,392	8,236	1,605,912	435,457	559,513	610,942	1,304,966	110,580	14.5	631,221	56.2
23	13,299	8,226	1,596,170	443,750	570,750	581,670	1,303,803	110,402	14.5	611,036	55.7
24	13,170	8,197	1,604,225	442,508	566,985	594,732	1,314,968	110,836	14.5	584,417	55.1
25	13,043	8,177	1,583,610	440,512	554,321	588,777	1,303,661	111,111	14.2	595,976	54.8
26	12,905	8,142	1,557,461	441,834	540,560	575,067	1,287,284	111,059	14.0	590,632	54.2
27	11,674	7,304	1,402,448	398,054	488,412	515,982	1,158,902	101,497	13.8	578,804	53.5
28	11,252	7,076	1,339,761	384,109	460,583	495,069	1,111,301	99,957	13.4	518,301	48.5
29	10,877	6,876	1,271,931	370,278	435,770	465,883	1,061,858	97,842	13.0	496,309	46.5
30	10,474	6,688	1,207,886	357,310	411,639	438,937	1,015,793	95,593	12.6	467,636	44.6

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成30年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

3歳児教育の普及状況の推移

区 分	幼 稚 園 数				在 園 児 数				3 歳 児 在 園 児 数			
	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
昭和61年度	15,189	48	6,267	8,874	2,018,523	6,593	481,109	1,530,821	222,677	985	4,974	216,718
62	15,156	48	6,263	8,845	2,016,224	6,600	470,454	1,539,170	232,398	999	5,563	225,836
63	15,115	48	6,251	8,816	2,041,820	6,606	467,611	1,567,603	246,770	1,000	5,594	240,176
平成元年度	15,080	48	6,239	8,793	2,037,614	6,557	454,148	1,576,909	259,051	980	5,738	252,333
2	15,076	48	6,243	8,785	2,007,964	6,581	433,242	1,568,141	275,201	981	5,625	268,595
3	15,041	48	6,224	8,769	1,977,611	6,630	410,707	1,560,274	300,242	983	6,096	293,163
4	15,006	49	6,220	8,737	1,948,868	6,613	391,213	1,551,042	323,776	1,032	7,037	315,707
5	14,958	49	6,205	8,704	1,907,110	6,740	379,857	1,520,513	322,763	1,102	8,424	313,237
6	14,901	49	6,195	8,657	1,852,183	6,786	370,736	1,474,661	326,610	1,119	10,838	314,653
7	14,856	49	6,168	8,639	1,808,432	6,778	361,662	1,439,992	341,515	1,120	13,236	327,159
8	14,790	49	6,140	8,601	1,798,051	6,827	360,168	1,431,056	346,675	1,124	15,784	329,767
9	14,690	49	6,085	8,556	1,789,523	6,803	360,630	1,422,090	350,401	1,132	17,957	331,312
10	14,603	49	6,030	8,524	1,786,129	6,823	359,854	1,419,452	371,308	1,167	21,339	348,802
11	14,527	49	5,981	8,497	1,778,286	6,911	360,558	1,410,817	358,093	1,181	23,804	333,108
12	14,451	49	5,923	8,479	1,773,682	6,889	363,851	1,402,942	370,237	1,207	28,131	340,899
13	14,375	49	5,883	8,443	1,753,422	6,819	360,962	1,385,641	381,798	1,188	33,270	347,340
14	14,279	49	5,820	8,410	1,769,096	6,804	363,281	1,399,011	398,626	1,203	36,867	360,556
15	14,174	49	5,736	8,389	1,760,494	6,718	361,136	1,392,640	400,243	1,229	39,307	359,707
16	14,061	49	5,649	8,363	1,753,393	6,626	356,770	1,389,997	410,228	1,210	41,311	367,707
17	13,949	49	5,546	8,354	1,738,766	6,572	348,945	1,383,249	420,343	1,217	42,800	376,326
18	13,835	49	5,469	8,317	1,726,520	6,531	342,301	1,377,688	423,770	1,237	43,082	379,451
19	13,723	49	5,382	8,292	1,705,402	6,457	331,222	1,367,723	428,928	1,270	42,987	384,677
20	13,626	49	5,301	8,276	1,674,172	6,374	318,551	1,349,247	427,148	1,265	42,702	383,181
21	13,516	49	5,206	8,261	1,630,336	6,315	306,015	1,318,006	415,991	1,278	42,104	372,609
22	13,392	49	5,107	8,236	1,605,912	6,215	294,731	1,304,966	435,457	1,310	43,436	390,711
23	13,299	49	5,024	8,226	1,596,170	6,044	286,323	1,303,803	443,750	1,308	43,663	398,779
24	13,170	49	4,924	8,197	1,604,225	5,930	283,327	1,314,968	442,508	1,291	43,451	397,766
25	13,043	49	4,817	8,177	1,583,610	5,785	274,164	1,303,661	440,512	1,292	42,599	396,621
26	12,905	49	4,714	8,142	1,557,461	5,614	264,563	1,287,284	441,834	1,259	42,315	398,260
27	11,674	49	4,321	7,304	1,402,448	5,510	238,036	1,158,902	398,054	1,288	38,438	358,328
28	11,252	49	4,127	7,076	1,339,761	5,394	223,066	1,111,301	384,109	1,324	37,107	345,678
29	10,877	49	3,952	6,876	1,271,931	5,288	204,785	1,061,858	370,278	1,265	35,664	333,349
30	10,474	49	3,737	6,688	1,207,886	5,330	186,763	1,015,793	357,310	1,345	35,052	320,913

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成30年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼保連携型認定こども園の園数等

区 分		全 体	公 立	私 立
園 数		4,466	651	3,815
学 級 数		20,565	2,919	17,646
園 児 数	0 歳	22,145	2,076	20,069
	1 歳	65,297	7,323	57,974
	2 歳	78,263	9,634	68,629
	3 歳	143,853	17,083	126,770
	4 歳	145,731	19,074	126,657
	5 歳	146,276	19,873	126,403
	計	601,565	75,063	526,502
本務教員数		92,444	10,854	81,590

注) 出典：文部科学省「平成30年度学校基本調査速報」（平成30年8月2日現在）

都 道 府 県 別

区 分	幼 稚 園 数				在 園 児 数 (1)				3 歳
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
1 北 海 道	422	2	52	368	48,596	33,747	607	14,242	14,888
2 青 森	88	1	2	85	5,078	3,500	12	1,566	1,601
3 岩 手	97	1	44	52	6,902	4,850	331	1,721	2,076
4 宮 城	242	1	76	165	28,536	20,628	915	6,993	7,936
5 秋 田	40	1	5	34	2,696	1,906	56	734	815
6 山 形	74	1	12	61	6,782	4,895	71	1,816	1,919
7 福 島	264	1	149	114	19,888	14,208	1,359	4,321	5,701
8 茨 城	268	1	140	127	24,348	17,741	793	5,814	6,638
9 栃 木	100	1	1	98	15,039	10,234	20	4,785	4,837
10 群 馬	155	1	71	83	12,652	8,702	1,116	2,834	3,978
11 埼 玉	544	1	48	495	92,861	64,527	490	27,844	28,354
12 千 葉	510	1	106	403	76,773	53,962	806	22,005	22,839
13 東 京	991	2	171	818	154,419	106,207	2,171	46,041	48,297
14 神 奈 川	653	0	42	611	113,738	79,583	217	33,938	34,155
15 新 潟	92	2	32	58	6,532	4,552	462	1,518	2,031
16 富 山	51	1	22	28	3,050	2,156	236	658	916
17 石 川	55	1	2	52	6,052	4,127	27	1,898	1,949
18 福 井	76	1	56	19	1,911	1,351	181	379	600
19 山 梨	57	1	2	54	4,019	2,745	45	1,229	1,301
20 長 野	96	1	9	86	9,288	6,243	165	2,880	3,079
21 岐 阜	172	0	72	100	20,742	14,195	1,207	5,340	6,547
22 静 岡	393	1	212	180	40,031	27,626	3,979	8,426	12,434
23 愛 知	462	1	80	381	81,499	55,173	2,652	23,674	26,365
24 三 重	195	1	144	50	15,149	11,097	1,179	2,873	4,072
25 滋 賀	140	1	120	19	13,203	9,521	2,869	813	3,714
26 京 都	204	1	51	152	23,709	16,232	795	6,682	7,497
27 大 阪	627	1	277	349	86,825	62,204	1,834	22,787	24,651
28 兵 庫	532	2	331	199	50,779	39,109	775	10,895	11,737
29 奈 良	168	2	125	41	12,644	9,467	1,539	1,638	3,249
30 和 歌 山	77	0	44	33	5,878	4,055	445	1,378	1,823
31 鳥 取	20	1	3	16	2,217	1,549	22	646	692
32 島 根	90	1	77	12	3,227	2,296	818	113	931
33 岡 山	260	1	229	30	15,466	11,709	1,920	1,837	3,805
34 広 島	252	2	83	167	26,030	18,281	192	7,557	7,790
35 山 口	173	1	36	136	15,015	10,366	274	4,375	4,674
36 徳 島	131	1	120	10	5,802	5,274	251	277	554
37 香 川	143	1	109	33	10,759	7,544	1,550	1,665	3,233
38 愛 媛	139	1	60	78	11,879	8,276	565	3,038	3,645
39 高 知	41	1	16	24	2,781	1,956	173	652	853
40 福 岡	441	1	37	403	61,317	42,068	532	18,717	19,267
41 佐 賀	58	1	8	49	4,437	3,070	115	1,252	1,385
42 長 崎	114	1	27	86	9,431	6,575	159	2,697	2,880
43 熊 本	107	1	28	78	9,535	6,571	405	2,559	2,994
44 大 分	182	1	118	63	9,315	7,257	45	2,013	2,090
45 宮 崎	95	1	13	81	6,490	4,570	65	1,855	1,948
46 鹿 児 島	152	1	75	76	10,741	7,610	416	2,715	3,151
47 沖 縄	231	0	200	31	13,825	12,406	196	1,223	1,419
総計 (全 国)	10,474	49	3,737	6,688	1,207,886	851,921	35,052	320,913	357,310

注) 出典：平成 30 年度学校基本調査速報（平成 30 年 8 月 2 日現在）

※前年度間入園の在園児数は、平成 29 年度間に満 3 歳児入園した人数である。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の現状

(平成30年8月2日現在「学校基本調査速報」)

左記のうち前年度 間入園(内数)	在園児数(2)		教員数(本務者)				小学校及び義務 教育学校第1学年 児童数(A)	幼稚園修了者数 (H 30. 3) (B)	就園率 (B / A)
	4歳	5歳	計	国立	公立	私立			
2,828	16,476	17,232	4,495	11	341	4,143	39,300	18,412	46.8%
701	1,663	1,814	619	6	9	604	9,365	2,066	22.1%
632	2,330	2,496	678	8	203	467	9,382	2,670	28.5%
761	9,983	10,617	2,222	7	436	1,779	18,617	10,920	58.7%
207	908	973	342	10	26	306	6,667	1,071	16.1%
560	2,370	2,493	714	6	53	655	8,470	2,588	30.6%
1,071	7,392	6,795	1,832	4	608	1,220	14,133	7,438	52.6%
988	8,476	9,234	2,015	6	624	1,385	23,797	9,718	40.8%
1,308	4,931	5,271	1,425	7	9	1,409	16,010	5,823	36.4%
1,066	4,300	4,374	1,369	10	424	935	15,806	4,940	31.3%
1,517	31,723	32,784	6,371	6	266	6,099	59,799	34,440	57.6%
1,270	26,254	27,680	5,127	7	581	4,539	50,935	29,281	57.5%
2,438	52,361	53,761	10,713	22	840	9,851	102,900	55,038	53.5%
1,325	38,599	40,984	7,746	0	208	7,538	74,973	42,928	57.3%
546	2,237	2,264	772	10	180	582	17,635	2,623	14.9%
293	1,047	1,087	358	7	95	256	7,998	1,350	16.9%
969	2,054	2,049	661	7	13	641	9,791	2,359	24.1%
217	617	694	285	8	121	156	6,741	986	14.6%
317	1,322	1,396	469	7	16	446	6,477	1,474	22.8%
543	3,041	3,168	818	7	56	755	17,269	3,285	19.0%
1,535	6,803	7,392	1,928	0	581	1,347	17,390	7,715	44.4%
2,088	13,382	14,215	3,331	7	1,336	1,988	31,086	15,943	51.3%
3,310	27,011	28,123	5,102	7	642	4,453	68,317	29,153	42.7%
657	5,344	5,733	1,401	8	759	634	15,434	6,403	41.5%
22	4,584	4,905	1,322	8	1,116	198	13,486	5,369	39.8%
1,711	7,935	8,277	2,111	9	303	1,799	20,714	8,871	42.8%
2,022	30,316	31,858	6,398	10	1,484	4,904	71,415	34,204	47.9%
1,141	18,670	20,372	4,107	15	1,592	2,500	47,397	22,292	47.0%
222	4,587	4,808	1,191	17	753	421	11,067	5,210	47.1%
403	1,950	2,105	529	0	213	316	7,582	2,211	29.2%
315	741	784	243	6	13	224	4,955	825	16.6%
39	1,101	1,195	402	7	352	43	5,729	1,311	22.9%
520	5,657	6,004	1,348	8	904	436	16,462	6,516	39.6%
1,324	8,884	9,356	1,947	10	246	1,691	25,146	9,756	38.8%
1,322	5,171	5,170	1,347	7	138	1,202	10,884	5,373	49.4%
51	2,283	2,965	624	7	519	98	5,865	3,211	54.7%
506	3,670	3,856	1,069	7	648	414	8,350	4,219	50.5%
1,000	4,052	4,182	1,113	8	245	860	11,385	4,680	41.1%
205	955	973	332	6	91	235	5,235	996	19.0%
5,251	20,729	21,321	4,974	6	231	4,737	46,571	22,149	47.6%
431	1,491	1,561	450	6	52	392	7,738	1,785	23.1%
923	3,141	3,410	941	8	94	839	11,740	3,584	30.5%
828	3,181	3,360	833	6	159	668	16,178	3,572	22.1%
512	2,780	4,445	910	8	333	569	9,672	5,018	51.9%
869	2,174	2,368	712	9	50	653	10,150	2,580	25.4%
981	3,581	4,009	825	5	189	631	15,209	4,410	29.0%
226	3,382	9,024	1,072	0	781	291	16,941	10,870	64.2%
47,971	411,639	438,937	95,593	351	18,933	76,309	1,048,163	467,636	44.6%

幼稚園ナビ 新機能が追加されました!

- ご利用には幼稚園ナビ導入セット(右図)が必要です。お手元がない設置者様は、下記お問い合わせまでご連絡ください。
- 合同就職説明会機能や研修機能などこれから益々便利になりますのでぜひご活用ください。
- 研修申込みや免許管理など職員の方も普段使い出来るサイトです!



幼稚園ナビとは?

幼稚園ナビは、全日本私立幼稚園連合会が開発を進めている教員免許取得者の人材確保を目的とした幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。



幼稚園ナビの特徴

イベント・求人情報を
無料掲載!

1

求人情報の
簡単登録機能!

2

職員の研修・免許
管理機能搭載!

3

求人票 PDF の
自動作成機能

4

ハローワーク求人と
自動連携!

5

自園の魅力を
学生に発信!

6

詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://navi.youchien.com/>



お問い合わせ

幼稚園ナビ サポート事務局
担当: 岩崎

☎ 093-647-7330
✉ support@navi.youchien.com

私学事業団からのお知らせ

平成30年度健診結果をご提出いただきまして ありがとうございます



健診結果の第2回提出期限は、平成31年**1月31日**です。引き続きご協力をお願い致します。

ご提出いただきました皆様には、健康情報冊子「QUPiO(クピオ)」を
8月末より順次発送させていただいております。

①QUPiO (クピオ)



お一人おひとりの健診結果にあわせたアドバイスを
掲載している健康情報冊子です。
ヘルシーな食事や簡単にできるヨガなど、たのしい
情報が満載！

②特定保健指導利用券(保健指導対象者のみに送付しております)



専門家(保健師や管理栄養士など)から無料でアド
バイスを受けられる券です。

*保健指導を受けませんか?(②をお持ちの方)

「生活習慣を改善したいけれど、なかなか続けられない」という経験はご
ざいませんか?

保健指導では、専門家があなたに合った、無理のない生活習慣プランを
一緒に考えていきます。

保健指導で、生活習慣改善への軽やかな一歩を踏み出してみませんか?



相談料無料

メンタルヘルス等相談サービス

私学事業団健康相談ダイヤル

心と体のさまざまなご相談に医師・保健師・助産師・看護師などがお応えします。

対象者：加入者(任意継続加入者を含む)とそのご家族及び75歳以上の教職員

健康相談

メンタルヘルス相談

医療相談・
医療機関情報等の提供

育児・介護相談

電話・面談・Webによるメンタルヘルスカウンセリングも行っています(面談は、年度内5回まで無料)。

通話料
無料

0120-24-7831

24時間
年中無休

WebカウンセリングURL

<https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名：shigaku

パスワード：247831

セカンドオピニオン相談サービス **通話料無料 0120-36-8102** 月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
(日曜・祝日・12/31～1/3を除く)

※各電話番号は、一般には公開していない専用の番号ですので、取扱いにはご注意ください。

日本私立学校振興・共済事業団

福祉部 保健課 健康管理係・保健係

〒113-8441 東京都文京区湯島1-7-5

電話 03 (3813) 5321 (代表)

FAX 03 (3812) 8775

三重県内の現況と今後

平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」がスタートして4年目を迎えました。三重県私立幼稚園・認定こども園協会加盟園の状況は初年度である平成27年度は加盟60園中、認定こども園（幼保連携型・幼稚園型）4園、幼稚園（施設型給付）3園、幼稚園（従来型）53園でありました。

その後新制度への移行園の状況は今年度4月時点で加盟61園中、認定こども園（幼保連携型・幼稚園型）13園、幼稚園（施設型給付）16園、幼稚園（従来型）32園となりました。

この4年間で加盟園の約半数が新制度へ移行したことになります。幼稚園（従来型）32園のうち半数以上が在園児200人以上の比較的大規模な幼稚園です。また、私の園が所在する伊勢市においては12園の私立幼稚園・認定こども園がありますが、今年度をもって、宗教法人立の2園（いわゆる102条園）を除き10園全てが認定こども園または施設型給付の幼稚園へと移行しました。同じ県内でも公立幼稚園・保育園の設置状況等の市町特性や地域住民の意識特性により、新制度への移行状況にも大きな差があります。

このような状況を鑑みると、教職員の「処遇改善」の取り組みをはじめ、新制度移行園と従来型園との間にある大きな格差をうめるべく従来型園に対する私学助成等の拡充等、国・県の財政措置・補助金について引き続き積極的に活動する必要があります。形態が幼稚園（施設給付型）、幼稚園（従来型）、認定こども園と変わろうとも、教育・保育の質、教職員の処遇等については平等に向上していくよう引き続き努力していきたいと思ひます。

（（一社）三重県私立幼稚園・認定こども園協会副会長、伊勢市・双康幼稚園／中西康裕）

県政 150 周年 さらなる幼児教育の充実に向けて

兵庫県では「県政 150 周年」事業を展開しています。

本県は、多様性に富む摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国から構成されています。神戸が有名ですが、この原稿を執筆している現在、高校球児が熱闘を繰り広げている甲子園球場は摂津にあります。播磨には国宝姫路城が、日本海に面した但馬は、スキー場で賑わい、丹波はデカンショ節で有名です。そして、太平洋を望む淡路は「国生み伝説」では日本最古の島です。

当協会におきましても、県政 150 周年事業を、水族館発祥の地である神戸市にある「市立須磨海浜水族園」に、県内各地の幼稚園児、保護者を招いて盛況に開催いたしました。郷土に対する誇りや愛情を持ち、兵庫県の次の時代を創っていってくれるでしょう。

また、本県では、幼稚園と保育所が合同で就職説明会を開催していますが、今年は兵庫五国の歴史と文化を学ぶため、五国に所在する園を訪問する「シールラリー」を実施しました。

さて兵庫県では、本年度から臨床心理士を各園に派遣する「子育て支援カウンセラー」制度を導入しました。回数の制限はありますが、県の全額補助制度です。3年目には全園実施を目指しており、初年度の今年度の実施希望園が70%を越し順調な滑り出しをみせています。

当協会は、今後とも幼児教育現場から、子どもたちと向き合い、研修研鑽を深め、保護者の皆さんの期待をしっかりと理解し、兵庫の未来を担う子どもの笑顔が輝き健やかに育っていけるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

（（一社）兵庫県私立幼稚園協会理事長、尼崎市・認定こども園立花愛の園幼稚園／濱名浩）

平成 30 年 秋の全国交通安全運動

内閣府では、交通事故防止の徹底を図ることを目的に秋の交通安全運動を実施しています。

30 年秋は、「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」・「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「飲酒運転の根絶」の 4 つを運動の重点として、普及啓発活動を全国各地で一斉に行います。

運動期間中は、より一層交通安全を心がけて過ごしましょう。

- 運動期間：平成 30 年 9 月 21 日～ 30 日
- 交通事故死ゼロを目指す日：9 月 30 日（日）

編集後記

ある日突然、チョウチョのサナギが居るはずの虫かごの中に、何と！ハチが居るではありませんか！子どもたちは、目をまん丸にして「どうして・・・？」「チョウチョは・・・？」と、大騒ぎです。

調べると、ハチは習性として幼虫に卵を産み付け、幼虫の体内で温められた卵は幼虫がサナギになる頃に孵化し、サナギを食い荒らして成長するということが解りました。

どうやら、幼稚園で飼っていたのは、ハチに刺され体内に卵を産み付けられたチョウチョのサナギであったようです。子どもたちは、「酷い！」「かわいそう・・・。」と、目にいっぱい涙を溜めていました。幼虫がサナギになる様子を見守り、やがてチョウチョになるのを心待ちにしていた子どもたちにとって何とも残酷な出来事でありました。小さな命を愛おしみ、自然界の厳しさに涙する幼い姿に胸を打たれました。

これからも、子どもたちには、優しくあれ、更には、逞しくあれ、と願います。

（調査広報委員・山西幸子）

平成 30 年度（第 8 回）免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 23 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	黒田 秀樹（九州女子短期大学 非常勤講師） 宮下 友美恵（静岡県立大学短期大学部 非常勤講師）	6 時間	平成 30 年 12 月 22 日	150 人	平 30-80011-101046 号
東京都新宿区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 11 月 24 日開催の選択必修講習と連続して行う。	青木 久子（青木幼児教育研究所（AEER）主宰） 戸田 雅美（東京家政大学 教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 23 日	200 人	平 30-80011-101047 号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 12 月 22 日開催の必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦（武蔵野東第 1 幼稚園 園長、第 2 幼稚園 園長） 東 重満（札幌国際大学 人文学部心理学科特任教授）	6 時間	平成 30 年 12 月 23 日	150 人	平 30-80011-302256 号
東京都新宿区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、幼稚園教諭に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。本講習は、11 月 23 日開催の必修講習と連続して行う。	河邊 貴子（聖心女子大学 教授） 岸井 慶子（東京家政大学 教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 24 日	200 人	平 30-80011-302257 号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
茨城県土浦市	はっきりと障害があるとは言えないが教員が保育をしていて気になる子どもが各園に在園していると思われる。個性として認めながらも援助や支援に工夫が必要な子どもを本講習で取り上げ、具体的にどう保育をしていくことが大切か考えていく。また保護者に対しての支援等についても考えていきたい。	飛田 隆（茨城キリスト教大学 文学部児童教育学科准教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 11 日	120 人	平 30-80011-508818 号
茨城県水戸市	はっきりと障害があるとは言えないが教員が保育をしていて気になる子どもが各園に在園していると思われる。個性として認めながらも援助や支援に工夫が必要な子どもを本講習で取り上げ、具体的にどう保育をしていくことが大切か考えていく。また保護者に対しての支援等についても考えていきたい。	飛田 隆（茨城キリスト教大学 文学部児童教育学科准教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 18 日	100 人	平 30-80011-508819 号
山口県美祢市	本講習は、「幼稚園教育内容を深める」ことを目的として、①特別なニーズを有する子どもにおける個々の理解に基づいた関わり②保護者を含む関係者との連携などを中心に講義等を行います。	須藤 邦彦（山口大学 教育学部 准教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 17 日	80 人	平 30-80011-508820 号
大阪府大阪市	本講習では、安家先生に「子どもの育ちの内面を探りいかに保護者と共有するのか」をテーマに講義を行う。また安達先生には保育という営みは子ども理解から始まるもので、発達を無視して保育者の意図を一方的に押しつけるものではなく、子どもの育ちをまんな中に保育者が語り合い、可視化し、保護者、地域とつながっていくことの重要性を、「園における連携を考える」一子どもをまんな中に一のテーマのもとお話いただく。	安家 周一（梅花女子大学 心理こども学部こども学科教授） 安達 譲（大阪教育大学 非常勤講師）	6 時間	平成 30 年 11 月 12 日～ 平成 30 年 11 月 13 日	170 人	平 30-80011-508821 号
北海道札幌市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	加藤 繁美（東京家政大学 子ども学部教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 9 日～ 平成 30 年 11 月 10 日	150 人	平 30-80011-508822 号
北海道函館市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	松井 亜樹（札幌大谷大学短期大学部 保育科 准教授） 毛利 悦子（函館大谷短期大学 こども学科教授）	6 時間	平成 30 年 11 月 10 日	100 人	平 30-80011-508823 号

ポットは毎月 CD-ROM 付き!

チャイルドブックの月刊保育雑誌

キッズ保育応援マガジン

ポット

価格 本体 1,000 円 + 税

好評発売中!

チャイルド本社

保育に役立つ アイデア満載!

行事

遊び

食育

0・1・2 歳児

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
<http://www.childbook.co.jp/pot/>